

▶ 災害に強く命を守るまちづくり

(1) 洪水対策

毎年、梅雨時の豪雨や台風などによって引き起こされる洪水被害から沿川の人命や財産を守るために、河川改修事業や河川総合開発事業（ダム建設）を推進します。

河川改修事業

水害の発生を未然に防止するとともに、自然環境との調和に配慮し、安全で快適な生活環境の創造と保全を図ります。

【平成23年度事業費及び事業箇所】

- 広域河川改修事業
日野川（佐世保市）など2河川 5億7,000万円
- 総合流域防災事業
時津川（時津町）など26河川 12億3,700万円



日野川河川改修事業

目的

佐世保市を流れる相浦川の支川日野川では、下流域の低地部において毎年のように浸水被害が発生していることから、拡幅等の河川改修工事を行っています。

- 【事業主体】 長崎県
- 【事業期間】 平成3年～平成27年
- 【総事業費】 90億円
- 【進捗率】 91% (H22年度末)
- 【平成23年度予算】 3億5,000万円、事業内容／県道橋（牽牛崎橋）架替

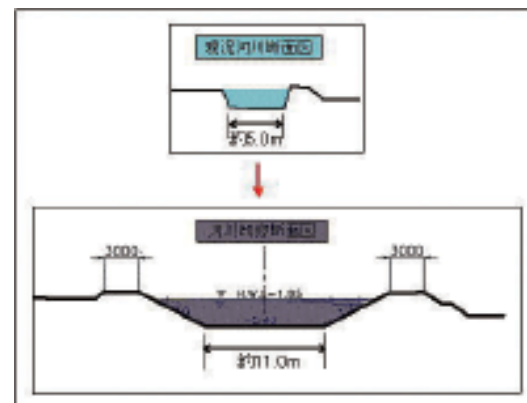


日野川 牽牛崎橋周辺



日野川 豪雨時の浸水状況（平成21年7月26日）

牽牛崎橋の現況河川断面図



河川総合開発事業

長崎県は、島も含めて山が多く平地が少ないため、集中豪雨が来ればすぐに河川が増水し、また、反面日照りが続くと水不足に陥るなど、「水」に関しては全国的にも恵まれない県の一つです。これらの抜本的な対策としては、ダムの建設による洪水調節と水資源の確保が最も効果的であることから、ダム建設を推進しています。完成したダムについては、周辺環境を整備するなど適切な管理を行っています。

石木ダム建設事業

目的

- ① 川棚川の洪水調節
- ② 川棚町の既得用水と河川維持用水の安定的補給
- ③ 佐世保市の水道用水として日量4万m³の新規取水の確保

- 【事業主体】 長崎県、佐世保市
- 【事業期間】 昭和50年度～平成28年度
- 【総事業費】 285億円
- 【進捗率】（平成22年度末事業費ベース）48.8%
（平成23年度予算3億180万円、事業内容／付替道路）
- 【今後の取組み】 付替道路工事とともに用地取得の一層の推進に取り組みます。



石木ダム建設予定地（川棚町）

本河内ダム建設事業

目的

- ① 中島川の洪水調節
- ② 長崎市の既得用水と河川維持用水の安定的補給

- 【事業主体】 長崎県、長崎市
- 【事業期間】 昭和58年度～平成24年度
- 【総事業費】 149億7,400万円
- 【進捗率】（平成22年度末事業費ベース）92.5%
（平成23年度予算3億6,900万円、事業内容／周辺環境整備工）
- 【今後の取組み】 本河内低部ダムについては、周辺環境整備工事等の進捗を図り試験湛水を実施し、平成24年度完成を目指します。



本河内低部ダム（長崎市）

本明川ダム建設事業

目的

- ① 本明川の洪水調節
- ② 諫早市の既得用水と河川維持用水の安定的補給
- ③ 諫早市等の2市2町（旧飯盛町、旧多良見町、旧香焼町、旧琴海町を含む）の水道用水として日量2万5千m³の新規取水の確保

- 【事業主体】 国土交通省
- 【事業期間】 平成2年度～
- 【総事業費】 約780億円
- 【進捗率】（平成22年度末事業費ベース）8.8%
（平成23年度予算8,642万円、事業内容／環境調査等）
- 【今後の取組み】 ダム建設の促進について、今後も国土交通省に要望してまいります。



本明川ダム建設予定地（諫早市）